

大館第一中学校

大館の農業現場を見学  
「農家は日本という会社で働いている」



石垣果樹園



JA あきた北 選果場

大館第一中学校1年生は、5月23日に、大館市内の産業や伝統・歴史を見学する「大館探訪」を行いました。

大館市中山地区の名産「中山なし」を栽培している石垣果樹園では、実際の果樹園を見学しながら、農家さんのこだわりのお話を聞くことができました。石垣さんは「日本という会社で働いているという気持ちでがんばっています」と力強く話してくださいました。

JA あきた北の選果場では、農作物がたくさん貯蔵できる大きな大きな冷蔵庫を見学しました。



第一中学校

昨年度、学校支援地域本部事業を核にして、「ふるさと教育」「キャリア教育」から「ふるさとキャリア教育」の視点で捉え直して充実させ、ふるさと大館を好きになり、大館に根ざして生きようとする気概と、自分の将来を見つめ夢・志をもつことができる生徒の育成を目的とし、ふるさとキャリア教育推進協議会を設立しました。特に、地域の双方向の連携を深めていくことを大切にして取り組んでいます。

様々な職業人から学ぶ鳳雛講座は、今年度15講座開設し、通算107回となりました。各教科、行事及び部活動等でも地域の人材を活用しています。

また、高校や保育園との交流、地域の行事やボランティアに参加するなど、双方向の連携をしながら、ふるさとキャリア教育の充実を図っています。

第二中学校

今年度は、防災教育をふるさとキャリア教育の中心に位置付け取り組んできました。地域での自主防災組織の一翼を担う、防災リーダーとしての資質を育み、豊かな心とたくましい実践力のある生徒を育てていくことがねらいです。合い言葉は、「アヤマの里の防災リーダーを目指して～助けられる人から助ける人へ～」。地域の方々と共に中学生が主体となった防災活動にチャレンジしてきました。様々な活動を通して、生徒たちの防災意識が高まるとともに、地域の一員として「将来にわたって地域に尽力する」といった心情が醸成されています。さらに、中学生を頼れる地域の力として見てくれる地域の方々が増え、生徒自身の自己肯定感も高まってきました。

大館第二中学校

「自分たちにできること」地域の方と話し合い

大館第二中学校で、7月4日、地域防災活動集会が行われました。「自分たちにできる地域防災活動」について町内の方と一緒に話し合い、取り組む内容を決めました。生徒からも地域の方からも積極的に意見が出され、これからも学校と地域が連携しながら活動を続けていくことを確認していました。



**下川沿中学校** 留学を経験した学生さんの講話 日本との文化の違いを紹介

下川沿中学校では、1月24日に、秋田県の「あきたっ子グローバルびじょん〜目指せ！未来の国際人〜」事業を活用し、留学経験者の話を聞きました。講師は、オーストラリアに留学した成田さんと、チェコに留学した佐藤さん。2人とも国際教養大学4年生です。留学の様子を写真で紹介した後に、留学を通して感じたこと、中学生のみなさんに伝えたいことを話していただきました。



オーストラリアに留学した成田さん



チェコに留学した佐藤さん



**下川沿中学校**

本校のふるさとキャリア教育の目標は、学校経営の重点目標「自己有用感、たくましさを育てる」と深く関連しています。社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するために、職業体験学習のほか、プロジェクト型の学習では、グループごとに地域への貢献のための企画を考え実践し発表会を開催しました。また、先輩や地域の方からの講話を通して、人とかわりながら自分の考えをもち、伝えることで自己有用感が獲得できるような取組をしてきました。この1年、本校生徒は学習や行事を通して、互いにかかわり合い認め合いながら、相手を意識した言動が多く見られようになってきました。集会での積極的な意見発表などは大きな成長です。日々の教育活動を通して、困難に出会いながらも自立できるように身に付けるべき能力や態度など、総合的な成長を促す取組を大事にしています。

**南中学校**

本校では「ふるさとを知る・職業を知る・生き方を探る」という学年の系統を考えてふるさとキャリア教育を実施しています。

グループで行う学区内の調査活動、一人で訪問する職場体験や都内での企業訪問を通して、相手の考えや立場を尊重し、自分の考えを正確に伝える力が育ちつつあります。レポートからは自分の生き方を考えようとする意欲が伝わってきます。

また、外部講師による講話や実技指導、校外でのボランティア活動等の体験により、「自分の親と学校の先生」以外の大人と触れ合う機会が多くなりました。

小規模校の本校生徒にとってこの活動は人に頼らず自分で考えて行動する力や積極的なコミュニケーションにつながるものと考えています。

**南中学校** 笑顔であいさつ！飲食店の仕事などを体験

南中学校2年生が、5月22・23日の2日間、職場体験を行いました。大館駅前のレストラン「花善」では、テーブルのセッティングからお料理の出し方まで、飲食店のお仕事をまるまる体験。お客さまに笑顔であいさつする生徒の姿に、お店の人も感心していました。



## 成章中学校 1年生が地元企業を訪問 元気にあいさつ!企業の方も感心

5月24日、成章中学校1・2年生が職場体験を行いました。1年生は地元企業を中心に、2年生は大館市中心市街地の企業を中心に、さまざまな職場で仕事をお手伝いしました。大滝温泉給油所のスタッフの方は、「生徒たちは元気な声であいさつができるし、仕事もすぐに覚えてくれた。体験2日目は、何も指示しなくても働いてくれた」と、大変感心していました。



## 成章中学校

見慣れた道の見慣れた施設  
いつもは利用者として訪れているこの場所に

今日はワーキングスタッフとして入ってみる

立場が違うだけで

見える景色がこんなにも違うものなのか…

私たちに任された仕事は  
ごくごく簡単なものなんだろうけど、

味わったことのない緊張感

……大人ってすごい……

成章中学校では「地域一学校」  
双方向の活動を展開しています。

## 花岡中学校

体験活動や人とのかかわりを通して「自己を見つめ、自分の生き方を考える生徒」を目指して、フラワータイムを実施しています。1年生は、3日間で花岡地区の秋田フォーラム等13事業所の職場体験。2年生は、2日間で大館市の秋田労災病院等11事業所の職場体験。3年生は、修学旅行で東京の施設見学をして、「ふるさと大館を見直そう」というテーマで実施しています。また、今年で11回目となる「ようこそ先輩 課外授業」を11月に全校で実施しました。子どもハローワークへの参加状況は、全校生徒52人に対して参加合計73でした。地域を素材とした探求的な学習を通して、課題を見つけ、課題解決に向かって主体的・創造的・協力的に取り組む能力や態度が少しずつ育ってきています。

## 花岡中学校 鳥潟会館ガイドボランティア「花岡に誇り」

花岡中学校では、10月13・14日に開催された「本場大館さくらたんぼまつり」の中で、花岡の文化財「鳥潟会館」のガイドボランティアを行いました。市外からのお客様に、建物の説明やお茶会でおもてなしすることを通して、「花岡に誇りを持たせたい」と生徒は話していました。



## 「ようこそ先輩」夢へアドバイス

魅力ある人財を招いて夢について話していただく「ようこそ先輩 課外授業」を、10月19日に開催しました。講師は岩谷製パンの岩谷さんです。恩師からの紹介の後、ドイツで見たパンの話や将来の夢、人との出会いが人生の財産になることなどについて話していただきました。



**矢立中学校 人間関係を育む取組 高校生の先輩、男鹿北中との交流**

矢立中学校では、もっとも近い先輩である高校生や、なかなか接する機会がない他校との交流などを通して、さまざまな人と人間関係を築きながら将来を考える活動に取り組んできました。7月の「ようこそ先輩」では、卒業生である高校生の先輩をお招きし、さまざまなお話を聞きました。また、男鹿北中学校とは、お互いの学校祭に参加し合うなど相互交流を深めました。そのほか、朝会で全校生徒の前でスピーチを行ったり、二中・花中と部活で交流したりと、豊かな人間関係を築くためのさまざまな取り組みを行っています。



7月30日 ようこそ先輩



8名の先輩が集まってくれました！



照明係は矢立中生が担当！



男鹿北中学校の生徒さんによる「なまはげ太鼓」

10月7日 矢立中祭



校舎から見える海に興味津々♪



11月30日 朝会スピーチ

**矢立中学校**

「人や社会との関わりの中で自己を見つめ、夢の実現に向かって自ら努力する生徒」を目標に掲げ、子どもたちの3年間の成長を見据え、学年の発達段階に合わせてふるさとキャリア教育に取り組んでいます。

本校の取組にたくさんの方々が協力して下さいます。矢立の歴史や文化、自然、伝統芸能、ご自分の人生経験などを教えてくださる地域の方々。高校での生活の様子や受験での体験談を語り、アドバイスをくださる本校の卒業生のみなさん。同じ中学生でありながらよい刺激を与えてくれる男鹿北中、大館二中、花岡中、大館東中のみなさん。たくさんの方々とのふれあい・かかわりの中で、子どもたちは校内では得られない貴重なことを学び、卒業後も自らの輝く人生を自ら切り拓く力を蓄えているところです。

**東中学校**

「自己の将来を見据え、自らを磨き未来を切り拓く生徒の育成」が本校の教育目標です。挑戦（チャレンジ）と感動を合言葉に、キャリア教育の充実を図ってきました。

1年生は「キャリアドリーム」2年生は「職場体験学習」、3年生は「10年後の自分」を柱に、職業観・勤労観の育成、自己の適性の理解をめざしてきました。体験活動や地域の社会人の方々から学んだことをまとめ、学校祭で発表することを通して、自分の未来を切り拓いていこうとする意識を高めることができました。また、秋の「東中ボランティア」では、中学生らしいボランティアを町内会長さんと相談しながら考え、町内ごとに清掃活動や施設訪問を行い、地域を見つめ直すことができました。

**東中学校**

**「一生勉強の仕事」  
曲げわっぱ工場などで職場体験**

いつも利用するスーパーの裏側にある倉庫、たくさんの機械が置かれているテレビ番組の編集室。ふだん見ることができない職業の現場を体験できた2日間。

東中学校2年生が、5月21・22日の2日間、職場体験を行いました。「医療・福祉・農林畜産」「教育」「サービス・飲食店」「製造」「販売」「官公庁」の 카테고리ごとに、たくさんの職場へ訪問しました。大館工芸社では、弁当箱の仕切りをひとつひとつ手でやすりにかける仕事を体験。社員の方は、「木は生き物なので、100個の商品があれば、100個の心配がある。一生勉強の仕事。」とおっしゃっていました。



「木と対話しながら行うこの仕事は、1人前になるのに10年かかります。70歳の職人さんも働いているんですよ！」

大館工芸社



商品の棚出しを担当。お菓子をきれいに並べます。

大館ケーブルテレビ



「小さい弟や妹がいるので、子どもが大好き！」  
「保育士さんにあこがれています♪」

有浦保育園



大館いとくショッピングセンター



## 比内中学校 ふるさとに焦点 比内の特産「とんぶり」13kg収穫

比内中学校では、ふるさと・比内に特化した体験活動として、比内の特産「とんぶり」の栽培に今年度チャレンジしました。農家の方からとんぶりの苗をもらい、創作部ふるさと班が畑への苗植え、水やり、肥料やり、草とり、刈り取り、脱穀、乾燥、加工まで、農家の方に教えてもらいながら一連の作業を体験。プチプチのとんぶりが、なんと13kgも収穫できました。このほか、「ふるさとのために中学生の私たちができること」をテーマに、ふるさとフォーラムを11月13日に開催。ふるさとの未来について、さまざまな意見が飛び出しました。



### ふるさとフォーラム 提案がたくさん！



## 比内中学校

「郷土を愛し、明るく、たくましく生きる生徒」を目指し、ふるさとキャリア教育を進めています。今までの活動を見直し、生徒の主体的な活動への変革を図り、進路講演会・勤労体験学習・郷土料理学習会など体験を重視させています。その結果、働くことやふるさとに対する意識が高まってきたようです。ふるさとフォーラムでの話し合いでも、「自分たちがふるさとをもっと知り、ふるさとの未来について考えよう。」という意見が出され、今後の活動につながる話し合いがなされました。

また、創作部ふるさと班が「とんぶり」作りに挑戦し、農家の方から指導してもらいながら収穫できました。一連の作業を体験することによって、農家の苦労を実感し、各行事では得られない生きた学びによって、ふるさと教育が深まったようです。

## 田代中学校

「田代・大館のひと・もの・ことに直接触れ、ふるさとへの愛着心を育てる活動を通して、将来社会に出て自立し、自分の人生を充実させるとともに社会のために貢献しようとする心の醸成」を目標に、ふるさとキャリア教育を進めています。事前に調べたことについて「直接見て聞いて確かめる」新たな疑問については「大人と会話で渡り合う」魅力ある大人の発信力を最大限に活用して「ふるさとへの気持ち」が①よさの発見②愛着心③ふるさとに生きる意欲へと醸成されていく姿をイメージしています。

ふるさとキャリア教育は長いスパンで系統的・計画的に進めることが大切です。保育園、小学校、中学校と地域で育むことができる恵まれた教育環境にある田代。連携を深め、さらに進化を目指します。



**雪沢小学校** 地域の方々との交流 地域の良さを実感

**3・4年生が大館園を訪問 喫茶タイムやゲームを通して交流**



童謡や校歌などを発表!

みんなで作った折紙の飾りと、金魚つりゲームをプレゼント!

雪沢小学校3・4年生は、9月4日に、介護老人保健施設「大館園」を訪問し、利用者の方と交流しました。喫茶タイムのお手伝いをしたあと、練習してきた童謡の発表や詩の朗読、〇×クイズを披露。最後に手作りの折紙の飾りと、金魚つりゲームを利用者のみなさんにプレゼントすると、利用者の方々に笑顔があふれました。子どもたちは、「喜んでくれてうれしかった」「金魚つりゲームで楽しく遊んでほしい」「また来ます!」と話していました。

**このほか、地域の方々と多種多様な交流**



老人世帯との交流

タケノコ名人のお話

敬老会への参加

**地域や自然、伝統から学ぶ活動も!**



ワラ打ち体験

鹿島人形作り

鹿島流し

**雪沢小学校**

統合による閉校を1年後に控え、今年度は創立60周年を祝うとともに、「輝け、雪沢っ子プロジェクト」と銘打って、雪沢のよさを見直し、もっとすてきな雪沢っ子になろうと全校一丸となって活動してきました。

学年段階に応じた農作業体験を毎年積み重ね、高学年は販売体験をしたり、被災地や地域とのふれあいに活用したりし、収穫の喜びを地域に発信することもできました。

鹿島人形作りなどの地域の行事にも全校で参加しています。ワラ打ち体験、タケノコ名人の話、学校宿泊での星空観察、敬老会でのふれあいなど、地域への愛着が高まっています。統合後も地域のよさを継承していこうと、全校児童の話し合いの場ももたれています。

大館園には2回伺わせていただき交流のよさを味わいました。

**川口小学校**

川口小のふるさとキャリア教育では「ふるさとのよさを発見し、一員であることを誇りに思う中で、未来を創造し、自分らしさを発揮する心の育成」を目指しています。今年度は文化芸術体験事業で伝統芸能「落語」のワークショップと公演が行われました。代表児童が高座で小咄やお囃子を体験した他、全校で落語を鑑賞し、本物の世界にひたることができました。また、長年続いている「花植え」や「なべっこ祭り」の全校活動や、各学年の「ねぎの栽培体験」「保育所訪問」「デイサービス施設訪問」「川口獅子踊り学習」等では、今年も地域の方々との交流をさらに深めました。5年生と6年生は、大館全域の企業訪問やハローワークでの職場体験を行い、将来の自分を見据えて「働くこと」について考え、自分の夢につなげることができました。

**川口小学校** 地域の方との交流から大館全域での職場体験まで

川口小学校では、地域の施設や農家さんとの交流や、大館市内の企業の職場訪問・職場体験、伝統文化に関する体験など、幅広くふるさと・キャリア教育に取り組んできました。3年生は、立花ファームさんのご協力を得ながらネギ栽培に取り組んだり、川口の伝統芸能「川口獅子踊り」の保存会のみなさんから踊りを学んだりしました。6年生は、全員が冬休みを使って子どもハローワークでの職業体験を行い、働くことの楽しさ・難しさを実感していました。



立花ファームさんのお手伝い

保存会の方から教えてもらいました!

3年生 6月8日 ネギ植え

3年生 10月26日 ネギ収穫

3年生 1月30日 川口獅子踊り

児童代表が小話とお囃子を練習して、披露!

4年生 12月7日 下川沿保育所訪問

全校 6月20日 演芸公演「落語」(文化庁「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」)

5年生 7月4日 職短・田野倉校長のご講演

教育委員会で年賀状作成のお手伝い

小滝電気や青果魚類卸売も訪問しました

6年生 12月26日 子どもハローワーク

5年生 11月27日 デイサービスセンター「えがお」訪問

5年生 7月4日 東光鉄工訪問